

授業科目名	環境構法論
講義題目	
授業科目区分	専攻教育科目
開講年度	2012
開講学期	後期
曜日時限	金 2
必修選択	選択必修
単位数	2.0
担当教員	井上 朝雄
対象学部等	芸術工学部・環境設計学科
対象学年	学部 2 年
開講地区	大橋地区
履修条件	本来、構法に関しては理解すべき内容は、講義時間の範囲を超える広汎なものである。講義以外でも自主的に構法に関する知識の習得に努め、町中の建設現場などでも、どのような作業が行われているか観察する姿勢が期待されます。
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構法概論</li> <li>・ 在来木造の構法</li> <li>・ 鉄筋コンクリート造の構法</li> <li>・ 鉄骨造の構法</li> <li>・ 各部構法</li> </ul>
全体の教育目標	建築の「もの」としての構成の面白さ、その歴史的な展開を理解し、また、自習を通して各部構造の名称を覚えることが求められます。建築に関して何を学ぶにしても、基礎知識として必要な語彙の習得が重要となります。
個別の学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築を学ぶための基礎的な知識として、建築の構成と各部の名称、寸法・形状、役割などを知る</li> <li>・ 木造建築の材料・構法・構造を知ることによって、建築構法の考え方を学ぶ</li> <li>・ 建築生産の仕組みを理解した上で、建築の構成方法としての構法の諸側面およびそれに対応する建築構法計画の手法を具体的な設計事例、開発事例、施工事例を通じて理解する</li> </ul>
授業計画	毎週の講義と、建設現場の見学によって行います。 詳細な授業計画は、初回の授業の際にお知らせします。

キーワード	構法、工法、建築生産、工業化、在来構法
授業の進め方	下記テキスト欄に挙げた、テキストおよび配布プリントの内容に沿って授業は進めるため、下記テキストは授業開始時までには必ず購入しておいてください。なお、参考書は授業の際に適宜指示します。
テキスト	授業では、「建築構法」(朝倉出版)中村洋(監修)を使用します。また、授業の際にプリントを配布します。
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築構法第五版(市ヶ谷出版)内田祥哉(編著)</li> <li>・ 木造建築を見直す (岩波新書)坂本 功 (著)</li> <li>・ 地震に強い木造住宅 (工業調査会) 坂本 功 (著)</li> <li>・ 木造住宅構法 (市ヶ谷出版社) 坂本 功 (著)</li> <li>・ ファサードをつくる—PCa コンクリート技術と変遷 (プレコンシステム協会)「ファサードをつくる」編纂委員会 (編集), 松村 秀一, 清家 剛 (著)</li> </ul>
学習相談	授業の開始前、および、終了後に受け付けます。また、メールによる相談も可です。
試験／成績評価の方法等	成績評価は、期末試験の成績によって評価します。追試などの救済措置は一切講じません。
その他	設計演習は構法計画を具体的に考える良い機会なので、講義中に得た知識を常に応用する姿勢が求められます。また、構法設計論や建築生産も併せて修得すると良いでしょう。